



碧 空

第7号

保護者の皆様、地域の皆様
1年間、ありがとうございました。

3月15日に、平成29年度 第70回卒業証書授与式が挙行されました。三木市長様はじめ多くのご来賓の皆様のご臨席を賜り、120名の旅立ちの時を祝うことができました。

ご多用の中ご来校いただいた皆様に感謝申し上げます。卒業生が、須坂市、長野県、日本、そして世界を担っていく人となるために、自己を常に磨きながら、誠実に生き、「やがて世の光となること」を、職員一同心から願っております。

卒業生に贈ったはなむけの言葉 「岐路に立つ」 (卒業式 学校長式辞より 抜粋)

洋画家の中川一政さんは

「人間には、完成というものはないようだ。仕事にも、完成というものはないようだ。一つの山を登れば、かなたに、また大きな山が控えている。それを登ろうとする。力つきるまで。」という詩を残しています。

君たちは、今日から自分の選んだ道を歩んでいきますが、いくつものハードルを越さねばなりません。立ち止まる時もあるでしょう。岐路に立ち、悩み考える時もあるでしょう。しかし、その時こそが、君たちがさらに大きく成長する時です。もし、私たちに一切の不安もなく、危険もなければ、心配も苦勞する必要もなく、努力する必要もなくなるでしょう。

現パナソニック創業者松下幸之助さんは、「困難に直面し、不安な岐路立った時こそ、あらゆる力を傾け、命をかけて切り抜けていく。そこに一番充実した生活があるともいえよう。」とおっしゃっています。

創立70年の年輪を刻む大黒柱となって活躍した君たちなら、人生の中で岐路に立ったとき、必ず乗り越えていけると信じています。

創立70周年記念式典のパネルディスカッションの助言者、本校の大先輩、遠藤守信先生が、「Never Never Never and Never Give up」という、励ましの言葉を送ってくださいました。この言葉のとおり、決してあきらめることなく、明るく、力強く、自分を信じて人生を切り拓いていくことを願っています。

ピョンチャンオリンピックで活躍した、金メダリスト、茅野市出身の小平奈緒選手が、「与えられたものは有限、求めるものは無限」と言っています。「やがて世の光となること」を胸に、これからの世界や日本を創る人となることを心から願っています。